

令和3年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
『豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成』
～社会で「自立と貢献」ができる人づくりを目指して～
- (2) 具体目標
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳） 主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
気力にあふれ たくましい生徒（体） 精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）
- (3) 生徒指標
「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく展開することにより、豊かな心を基盤にしなが、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (3) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (4) ○認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり
- (9) 質の高い教育の提供と生徒と向き合う時間の確保に向けた、全教職員による働き方改革の推進

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育
～自分・人・地域を大切にすることの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

次の5つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- (2) 教科・領域における地域の教育資源の活用や連携による「主体的・対話的で深い学び」の充実
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
- (5) 行事や業務の見直しと精選による働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

○生徒一人一人のよさや強みを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実

【学習指導】

○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学びの充実」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

【児童生徒指導】

○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導

○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかみ—(共通スローガン)
～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

【健康（体力・保健・食・安全）】

○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	・基礎・基本の定着のため、授業でTTや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ・放課後学習相談も継続して実施する。 ・「見せ合い授業」等を通して、言語活動の充実を図る活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答91.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き、「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫し、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	・学校行事の目標に思いやりの内容を明確に位置づけて指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答94.0% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるようSDGsと関連させた内容を計画する。
	A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	○生徒手帳に記載されている「学校生活のきまり」を意識して生活させる。特に時間を守る意識の徹底を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答92.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・チャイム前着席など、時間に余裕をもって行動することを指導していく。
	A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	○挨拶を中心に、学校生活のあらゆる場面で、適切な言葉遣いや、発表・報告等ができるように繰り返し指導助言していく。 ・時と場に応じ、心のこもった品の良い挨拶や会話ができるように指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答98.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導していく。
	A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	・自分の個性を理解し、将来の目標を段階的に計画させる。その達成に向けて粘り強く努力するようにきめ細やかな指導を丁寧に行っていく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答86.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・将来の目標を段階的に計画し、達成に向けて粘り強く努力するようにきめ細やかな指導を行っていく。
	A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上	・保健体育の授業を中心に学校教育活動全体で、生徒が主体的に取り組めるよう保健主事や養護教諭と連携を図りながら指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答94.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・生徒が主体的に取り組めるよう、保健主事や養護教諭と連携を図りながら指導していく。

<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じたキャリア教育を実践することにより、生徒の良さを認めながら他者と協働して社会へ参画するように指導助言していく。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 86.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を充実させ、他者と協働して社会に参画するように指導助言していく。
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携を深め、外国語の授業を中心に言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める指導を行っていく。 ・TTの時間やALTとの授業の時間に、効果的な活動を取り入れる。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携を深め、今年度に引き続きコミュニケーション能力を高める指導をしていく。
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを体験できるように工夫していく。 ・宇都宮学を活用し、宇都宮の良さを感じられるように指導を続けていく。また、学習の様子を保護者へ情報発信していく。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 ・コロナ関係による行事や地域の活動の制限が要因と考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナに関係による活動の制限下において、総合学習の宇都宮学の授業で、宇都宮の良さを感じられるように指導を継続していく。
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとに計画的に図書室を利用した授業を行う。 ・各教科の学習や総合的な学習の時間に、ICT機器及び図書を効果的に利用した活動をする。また、教員同士で実践例を積み上げ、情報共有を図ることで、ICT機器の積極的な利用を促進する。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 82.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き GIGA スクール構想による生徒のタブレット活用を促進する指導を行っていく。
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわり心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年時の施設訪問やボランティア委員などのボランティア活動等を通じて支援を続け、更なる心の育成に努める。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて1年時の施設訪問やボランティア活動等を通じて支援を続ける。
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの分別を推進する。 ・各教科でSDGs「持続可能な開発目標」について教える。可能な活動について教科だけでなく、生徒会活動などで取り組み、関連付けた活動を実践し、意識を高める。 ・生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 75.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 ・生徒の「持続可能な社会」についての認識が低い。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「持続可能な社会」について教える。 ・各種委員会で、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。 ・生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。
<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部会・支援部会をそれぞれ週1回開催し、情報交換を行い、支援の方向性や具体的な方策などを話し合う。 ・タブレットを活用し、リモート授業等の幅広い支援方法の構築と確立に努める。 	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の情報や支援の方針を共通理解し、全職員で対応できるようにする。

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>○いじめの未然防止、早期発見および早期対応のために、月1回程度のアンケートを実施する。</p> <p>・教職員の人権感覚を高め、学校生活のすべての場面において、いじめが許されない行為であることを生徒に指導していく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.8%</p> <p>・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>・教育相談や三者懇談等を有効活用し、家庭との連携を密に行う。</p> <p>・行き渋りのある生徒や欠席しがちな生徒に対して早期対応・早期解決を図っていくとともに、課題を選択制にするなど、個に応じた段階別支援を可能にしている。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 95.0%</p> <p>・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・タブレットの活用による支援についても検討するとともに、できることを積極的に行う。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>・国際理解教育担当者と担任との連携や家庭との連携を密に取りながら、支援を必要とする生徒の洗い出しと適切な支援方法の検討を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.5%</p> <p>・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・対象生徒の状況をよく確認し、適切な支援を行う。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>・これまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒会や学級委員長が中心となり、生徒が主体的な活動ができる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。</p> <p>・生徒の活動を保護者へ情報発信していく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.4%</p> <p>・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・状況に応じてこれまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒会や専門委員長が中心となり生徒が主体的な活動ができる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。</p> <p>・生徒の活動を保護者へHP等で発信していく。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>・言語活動の充実を目指し、「見せ合い授業」や授業研究会を通して、各教科で課題を明確にし、分かりやすく、楽しい授業の展開に努める。</p> <p>・各授業でTTや習熟度別学習、放課後学習相談を行うなど、生徒一人一人に個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。また、ICT機器を活用した授業実践例を、教科横断的に積み上げていく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.3%</p> <p>・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度同様に教職員の資質を高める体制を整える。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>・学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組み、生徒や学校業務に関する情報を共有し、問題点の把握や改善に努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 85.0%</p> <p>・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校経営方針や重点目標を全職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組めるよう、生徒や学校業務に関する内容の共通理解を図っていく。</p>	

<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・教科間、学年間で教材や資料の共有をより多くの職員で行い、各業務の効率化を図る。 	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 60.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 ・部活動や学習相談など勤務時間外の活動が、勤務時間を超過させている。 ・感染症対策によりB日課5時間授業、部活動なしの期間は明らかに退勤時刻が早くなった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により見えてきた行事の有用性、部活動の在り方の見直し、といったことを考え、放課後の時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小・中間の授業の様子に関する情報交換及び授業力向上を目指していく。 	<p>【達成状況】 教職員生徒の肯定的回答 82.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 保護者地域平均の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、活動の充実を図る。 ・保護者に、活動の協力や活動後の報告を行い、普及に努める。 ・活動の様子を保護者や地域住民に情報発信をしていく。 	<p>【達成状況】 保護者地域住民の平均の肯定的回答 94.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である保護者地域住民の平均の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は地域の河川清掃活動など、新たなボランティア活動への参加もあった。活動の様子を学校だよりやHPを通して、保護者や地域の方に積極的に発信することを続けていく。
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 保護者の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談、オープンスクールや三者懇談を通して、家庭と生徒理解を深め、生徒のよさを認め、伸ばせるよう協力し合える関係を築く。 ・ボランティア活動を通して、地域と交流を図る。 	<p>【達成状況】 保護者地域住民の平均の肯定的回答 94.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である保護者地域住民の平均の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染症対策を講じながらできる範囲でのオープンスクールを実施することができた。次年度も状況に応じて、工夫しながら取り組んでいく。
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 90.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全点検、防災訓練等を通して安全な生活を送れるよう、環境を整え、知識を身に付けさせる。
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 教職員の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットが生徒一人一人に導入されることを受け、各教科主任を中心として、それらを有効活用した授業実践を行えるようにする。 ・各教科で必要な図書の充実を図り、授業に有効活用する。 	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを有効活用した授業実践を行っていく。

本校の特色・課題等	<p>B1 生徒は、自分のよいところを理解している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で、互いの長所を見つけ、認め合う活動を意図的に取り入れ、自他の良いところに目を向けたコミュニケーション能力が身に付くよう指導していく。 ○学校生活における生徒の頑張りを積極的に称賛し、様々な機会が発信していく。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答85.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己肯定感が高まる声かけや励まし、称賛をさらに意識して生徒と接していく。 ・達成感のある行事や授業を実施する。
	<p>B2 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートの内容が学年に応じているかの確認を行う。全学年共通して、自主学習の手引きを利用して、自主学習の状況を適宜確認する。 ・参考になる自主学習ノートの紹介を行うなど、個に合った自主学習ノートの内容について指導する。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答88.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度行ったことを継続して指導支援していく。
	<p>B3 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書量を増やしている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ・読書週間を設け、全校朗読放送や図書クラスの貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ・図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ・1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、じっくり図書を選ぶ時間をとったり、貸し出しの機会を増やしたりするなど、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答65.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 ・朝の読書が5分になっていることで生徒が普段から読書に親しむ時間が減っていること。感染対策で、クラスごとの利用にしているため、図書室を利用できる日数が減っていること。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語のガイダンスの時間や読書週間などを利用して、読書に親しむ習慣を付けられるようにする。
	<p>B4 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイアリーへの生徒の今日の記録に対するコメントを工夫する。 ・学校生活アンケートに記入された生徒の良い行いを学級にフィードバックする。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答94.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートに記入する友達の良い行いについての意見を活用し、他の生徒も見習えるようにする。
	<p>B5 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールやマナーの遵守および安全な登下校のため、登校指導や下校指導、日々の交通指導に力を入れていく。 ・集会や学級での指導を基本とし、家庭や地域の協力も得て、安全な自転車の乗り方や生命尊重の意識高揚に努める。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答87.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを守ることが自分の命を守ることになることをさらに指導していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度もコロナウイルスの感染症拡大防止のため、年間を通してオープンスクールが中止になったりして保護者や地域の方々に本校教育への理解をしていただく機会が不十分な中でのアンケートとなってしまった。また、今年度はGIGAスクール構想による生徒への一人一台端末の導入が整備されたことにより、Webによる回答となった。
 - ・今年度は、アンケート30項目（内5項目は独自項目）中26項目は対象者数値指標を達成した。また、25の共通項目中約半数の12項目が市中学校の平均を上回った。
- 地域学校園共通スローガンの実践としての「あいさつ」については肯定的回答が前年度より増え、生徒98.4%、保護者92.7%、地域100%、教職員87.5%であった。今後も小中の連携を密にしながら取組を継続していく。
- 今年度より地域学校園での共通な取組として「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習の習慣化を図る取り組みをした。肯定的回答は生徒が88.5%、保護者が69.2%であった。今後も手引きの改訂等を行い、生徒が達成感を得られる取組にしていきたい。

7 学校関係者評価

- ・すべての項目で、肯定的回答の割合が高かった。特に、A6健康安全の項目では前年度より13.3P増加し、B5交通ルール・マナーの項目では前年度より14.4P増加した。
- 以下のようなご意見をいただいた。
- ・魅力ある学校づくり協議会は、今年度は新型コロナ感染拡大防止の観点による制限の中で、学習相談といった放課後学習支援を行い、生徒の学習意欲向上に貢献した。また授業見学においても、生徒が落ち着いた環境で集中して授業に取り組んでいる様子が見られ、学習の雰囲気がよくになっているとの意見があった。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度もコロナ禍においての学校生活であったが、昨年度の経験を生かして、学校生活を送ることができた。評価対象者の数値指標は、ほとんどの項目で達成することができた。このことから本校生徒は現状を把握し、充実した学校生活を送ることができた。
 - ・次年度もコロナ感染拡大防止対策を行いながらの学校生活が予想されるが、タブレット等を活用したICT教育をさらに充実させながら学習環境を作っていく。
- 小・中の連携を密にしながら、児童生徒の家庭学習の習慣化のために、「家庭学習の手引き」の更なる活用を目指していく。
- ・魅力ある学校づくり協議会においては、次年度はPTAとの連携しながら、地域において生徒が主体的に取り組めるような活動を実施していきたいと考えている。